

2022年1月7日(金) 第2858回例会 形式:移動例会(夜間) 天候:晴れ

会長 室伏学 幹事 望月博文

事務所:神奈川県足柄下郡湯河原町宮上 566 湯河原温泉観光協会内 TEL 0465(64)1234 FAX 0465(63)1716

例会場:ニューウェルシティ湯河原 例会日:毎週金曜日 12:30~13:30

会長挨拶

室伏学

あけましておめでとうございます。
令和3年(2021年)中は大変お世話
になりました、誠にありがとうございました。
令和4年(2022年)こそは、コ
ロナ禍に「収束」、さらには「終息」をして
もらいたいと考えております。また、会

員の皆様にとっても、国際社会においても、平和な輝かしい1
年になることを願っております。

本日、1月の理事会を開催いたしました。1名の方が理事
会に推薦され、承認されました。これから会員の皆様にご異議
がないかどうかお諮りいたします。ご異議なければ、1月中の
入会を考えております。

また、昨年クリスマス頃に、ガバナー月信の当クラブ紹介の
記事をInstagram、FacebookといったSNSで発信いたし
ました。その際に、情報集会でもお名前の挙がっている2名の方
から「いいね」をいただきました。千載一遇のチャンスと捉えて、
お二人にロータリークラブへのお誘いのメッセージをお送り
しましたが、残念なことに、お二人とも即座に「お声がけいた
だいたことは光栄だが、入会の意思はない」とのご回答をいた
だきました。ご報告申し上げるとともに、今後も情報発信に努
めたいと思います。

また、本日の理事会では公式ロゴについても議論いたしま
したが、やや長くなりますので、来週に持ち越すことにいたしま
すので、1週間お待ちください。

結びに、本日は私ども「おんやど恵」を新年会場としてご用
命くださいまして、誠にありがとうございます。弊社は若い従業
員が多く、何かと行き届かない点もあるかと思いますが、どう
かロータリーの友情でご容赦ください。よろしくお願ひ申し上
げます。

ゲスト トン・タット・ミンフィ君(地区米山奨学生)

幹事報告・連絡事項 なし

夜間例会



今週は夜間例会として、例会終了後に新年会が催されまし
た。世間では COVID-19 オミクロン株が流行の兆しを見せ
ていることもあり、参加者は会場となった「おんやど恵」様によ
る万全の感染対策のもと、ソーシャルディスタンスを十分にと
った形で参加することができました。新年会は、司会を務めら
れた青木親睦委員長、櫻井会員、渡辺会員の素晴らしい進行
により、会員それぞれ、新しい年を迎えられたことを誇る貴重
な機会を持つことができました。(文:クラブ会報委員会)

今号ではMy Rotary 掲載記事を紹介します。

出席報告

会員	25名	出席率	91.67%
欠席	3名	前回の修正出席率	79.17%
(免除者)	1名	前々回の修正出席率	75.00%
ゲスト	1名	事前メイクアップ	0名
ビジター	0名		

2回目となったバーチャル国際大会で ポリオ根絶やコロナ禍収束への進展にハイライト (Ryan Hyland)

6月12~16日に開催されたロータリーバーチャル国際大
会は今年2回目の開催となり、何千人もの参加者がオンライ
ンで友情を築き、楽しいひと時を過ごしました。今回のバーチ
ャル国際大会は、新型コロナウイルスの世界的流行のために

台北(台湾)での対面式の国際大会が中止となったことを受けてオンラインで開催されました。

20 人以上の講演者、情報豊かでインスピレーションあふれる分科会、インタラクティブな友愛の家やさまざまなバーチャルのアクティビティやエンターテイメントが含まれたバーチャル国際大会には、約 10,000 人が登録しました。

ホルガー・クナーク国際ロータリー会長は開会本会議のスピーチで、旅行が制限されていたためにクラブやプロジェクトを訪問できず、支援や激励を提供することが難しく、自らの会長年度が失敗に終わってしまうのではないかと心配していたと述べた上で、「しかし、問題と思われたことが利点に変わりました。毎日、さまざまな場所のクラブをオンラインで訪問できたのです」と振り返りました。

1 日で世界中のクラブや地区を訪れることができたのは報いがあったとクナーク会長は述べました。「バーチャル環境では、一週間で 12 のロータリークラブとそのプロジェクトを訪れることができました。とてもエキサイティングで報いある経験でした。困難な年度に、皆さんが実施した活動をとても誇りに思います」

クナーク会長はまた、コロナ禍によって大きな被害がもたらされ、多くの人にとって大切な人を失うという悲しい結末となっていることにも触れ、「亡くなられた方々に思いをはせ、コロナ禍をできるだけ早く終息させるためにできることすべてを行わなければならない」と語りました。

困難な 1 年であったにも関わらず、世界保健機関(WHO)によるアフリカ地域の野生型ポリオウイルスの根絶が宣言されるという歴史的なニュースがあったことも紹介し、ロータリーがこの進展の勢いを維持し、世界的なポリオ根絶に引き続きコミットしていくことを奨励しました。クナーク会長は、今年 5 月までの時点で、世界で報告された野生型ポリオウイルスの症例は 2 件だったことも紹介しました。野生型ポリオウイルスが蔓延している国は、アフガニスタンとパキスタンの 2 カ国です。

バーチャル国際大会ではまた、テドロス・アダノム・ゲブレイエソス WHO 事務局長もビデオメッセージを寄せ、ポリオ根絶に引き続き取り組むロータリーを称えました。「新型コロナが蔓延しても、皆さんはポリオのない世界というビジョンを諦めないどころか、活動をさらに強化されました」

テドロス事務局長は、世界的流行によって、対応する体制やリソースがない地域社会がある限り、世界への保健的な脅威が高まることが浮き彫りになったと指摘し、ロータリアンはその事実を理解していると言及しました。「皆さまの公共保健への投資は、未来の世代がロータリーの標語である『超我の奉仕』を指針として生きるインスピレーションとなるでしょう」

Gavi ワクチンアライアンスのセス・バークリーCEO は、コロナワクチンに関する最新情報を提供し、コロナ禍によって停滞してしまった定期的な予防接種活動を再開することの重要性について語りました。

バークリー氏は、世界で 14 のコロナワクチンが承認され、14 億人がワクチンを接種したとし、これは「歴史上最大で最も複雑なワクチン開発」だったと述べました。Gavi は、コロナワクチンへの公平なアクセスを目的とした世界的な取り組みである COVAX を共同主導しています。来年初頭までには、92 の低所得国に住む 18 億人以上にワクチンが届けられる予定となっているとバークリー氏は報告しました。これらの人たちは、この取り組みがなければワクチンの利用ができないと考えられています。

しかし、コロナワクチンが終息の最終章ではありません。

「コロナワクチンの利用が拡大していく中、予防接種で得られたことを維持していくことが大変重要となる」とバークリー氏。「コロナ禍でもたらされた荒廃から復活し、多様な状況や年齢にある人びとが誰一人として置き去りにされないよう、活動をより強化していかなければなりません」

さらにバークリー氏は次のように付け加えました。「Gavi のパートナーとして、国際ロータリーはこれらすべての活動において主要な役割を果たします」

バーチャル国際大会ではこの他にも以下の方々講演しました：

ブルース・アイルワード、WHO 事務局長シニアアドバイザー
エリウド・キプチョゲ、オリンピック金メダリスト/マラソン世界記録保持者
バネッサ・ナカテ、気候活動家/Rise Up Movement 創設者
アナ・ロズリング・ロンランド、Gapminder 財団副会長
サンジ・スリカンサン、シェルターボックス CEO
本会議の司会は、ニュースキャスターでロータリー会員のマーク・ライトさんでした。

エンターテイメントは次の通り：ザ・フィルハーモニック(ヒット映画 Pitch Perfect 2 に出演のアカペラグループ)、Hiplet Ballerinas(ヒップホップとバレエのフュージョンダンスグループ)、アイドリス・グッドウィン(詩人、米国アーティストフェロー)、DDC Breakdance(ドイツを本拠とするダンスグループ)

バーチャル国際大会への参加者は、料理教室、トリビアクイズ、ダンスパーティ、バーチャル写真ブース、ポリオ根絶のための 5 キロウォークなどのアクティビティも楽しみました。

(出典:My Rotary)

(編集 1月会報担当:佐東丈介/クラブ会報委員会)